

令和7年度の主な取組み

資料2-1

【救命救急医療】

- ・手術台とX線血管撮影装置を組み合わせた手術室(HEOR)及び2ルーム式X線CT装置の本格稼働
- ・二次救急当番を年間130日担当し、県下の多くの二次救急患者を受け入れた。

【総合周産期母子医療】

- ・地域の分娩取扱機関との連携を図り、母子、新生児の救急患者の積極的な受入
- ・胎児の疾患の早期発見のため、胎児超音波スクリーニング検査を実施

【がん医療】

- ・がんゲノム医療拠点病院として、パネル会議での156症例の検討
- ・ダビンチやHUGO RASシステムなど手術支援ロボットを活用した低侵襲な手術件数の増加

【一般医療】

- ・業務のAI化を目的とした院内SATチームを立ち上げ、勉強会等を開催
- ・精神科救急体制・依存症治療・重症例受入の強化
- ・新災害支援ナースや特定行為看護師等の専門的な知識を習得した人材の育成
- ・労働時間管理指針を作成し、時間外労働を削減するなど職員の労働時間の適正化を図った。

R8年度計画の主な取り組み

【救命救急医療】

- ・高度救命救急センターを中心に、救急医療体制の高度化を図り、全ての救急患者を積極的に受入れる。
- ・二次救急当番日数の増(R5:111日、R6:130日、R7:130日、R8:132日)
- ・甲府市・中巨摩地区の医師会とのホットラインの運用推進、地域連携体制の強化を図る。

【総合周産期母子医療】

- ・総合母子医療センターとして、ハイリスク患者の受入体制を確保
- ・陣痛の痛みを軽減しながら出産できる無痛分娩の導入

【がん医療】

- ・ダビンチ最新機種を導入するなど手術支援ロボットの複数整備
- ・遺伝子パネル検査結果に基づく遺伝子変異に対応する分子標的薬による治療の推進

【高度先端医療】

- ・循環器医療: HORを活用した、左心耳閉鎖術、TAVIの積極的な実施、心大血管リハビリテーション外来の導入準備
- ・脳神経外科医療: 脳血管内治療のさらなる発展に取り組む。
- ・呼吸器医療: 単孔式肺がん手術の教育指導の充実

難治性呼吸器疾患治療の推進など地域の呼吸器基幹病院として強固なセーフティネットを構築

- ・消化器医療: 消化器疾患におけるステージ4の進行がんの余命の延伸に向けた治療の推進

【一般医療】

- ・若手医師の確保及び育成(初期臨床研修医(26人)を新規採用)
- ・児童思春期精神科医療や認知症の医療の提供について一層の高度化を図る。